

第2回課題質問の回答

2/19(水)

質問1

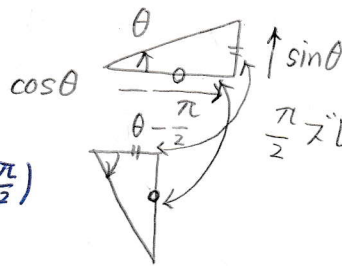
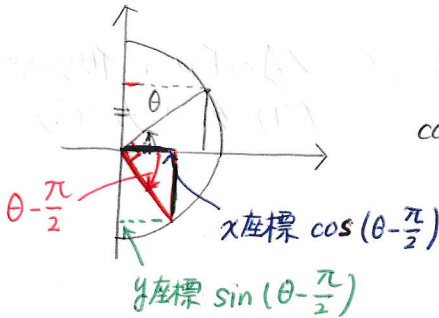
申し訳ございませんでした。

公式が誤っており訂正させていただきます。

$$\sin(\theta - \frac{\pi}{2}) = -\overset{\text{正}}{\cos\theta} \quad \overset{\text{誤}}{\cos\theta}$$

$$\cos(\theta - \frac{\pi}{2}) = \sin\theta$$

$$\tan(\theta - \frac{\pi}{2}) = -\frac{1}{\tan\theta} \quad \frac{1}{\tan\theta}$$



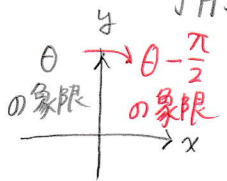
※ 長さの関係

$\frac{\pi}{2}$ ずれると「元の底辺」=「 $\theta - \frac{\pi}{2}$ 三角形の高さ」

「元の高さ」=「 $\theta - \frac{\pi}{2}$ 三角形の底辺」

※ 符号の関係

位相が $\theta - \frac{\pi}{2}$ になると、
点がある象限が1つ
手前にずれる。



“ $\theta - \frac{\pi}{2}$ ” の x 座標の符号

“ θ ” の y 座標の符号

“ $\theta - \frac{\pi}{2}$ ” の y 座標の符号

(-1) × “ θ ” の x 座標の符号

“ $\theta - \frac{\pi}{2}$ ” の tan の符号

= “ $\theta - \frac{\pi}{2}$ ” の $\frac{y \text{ 座標}}{x \text{ 座標}}$ から計算

θ	第1象限	第2象限
cos	⊕	⊖
sin	⊕	⊕
tan	⊕	⊖
$\theta - \frac{\pi}{2}$	第4象限	第1象限
cos	$\cos(\theta - \frac{\pi}{2}) \oplus$	$\cos(\theta - \frac{\pi}{2}) \oplus$
sin	$\sin(\theta - \frac{\pi}{2}) \ominus$	$\sin(\theta - \frac{\pi}{2}) \oplus$
tan	$\tan(\theta - \frac{\pi}{2}) \ominus$	$\tan(\theta - \frac{\pi}{2}) \oplus$

θ が第3, 第4象限のときも
同様の符号の関係です。

他には...

$$\sin(\frac{\pi}{2} - \theta) = \cos\theta$$

$$\sin(-\theta) = -\sin\theta$$

$$\cos(\frac{\pi}{2} - \theta) = \sin\theta$$

$$\cos(-\theta) = \cos\theta$$

の2つを組み合わせ

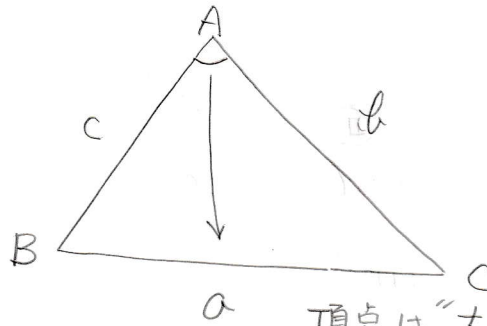
↑
符号は同じ

$$\sin(\theta - \frac{\pi}{2}) = \sin\left\{-\left(\frac{\pi}{2} - \theta\right)\right\} = -\sin\left(\frac{\pi}{2} - \theta\right) = -\cos\theta$$

$$\cos(\theta - \frac{\pi}{2}) = \cos\left\{-\left(\frac{\pi}{2} - \theta\right)\right\} = \cos\left(\frac{\pi}{2} - \theta\right) = \sin\theta$$

と別の知っている公式からも作ることができます。

質問2 → 図形といっしょにして視覚化すると覚えやすいです。

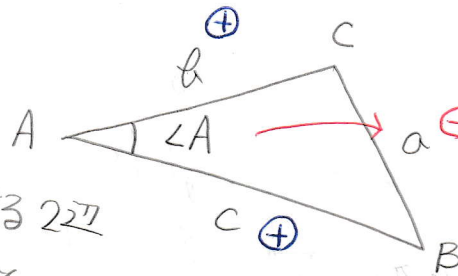


辺と頂点の名前の付け方

頂点は“大文字”、頂点が作る角の向かい側の辺は“小文字”で書く！

$$\textcircled{c} \cos \angle A = \frac{\overset{\oplus}{b^2} + \overset{\oplus}{c^2} - \overset{\ominus}{a^2}}{2bc}$$

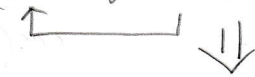
↑
∠Aを構成する2辺
↓ 変形すると



⊖ ∠Aの向かい側の辺のため、公式が⊖

$$\textcircled{c} a^2 = b^2 + c^2 - 2bc \cos \angle A$$

(a → b → cの順)



aの代わりに、1つおろすせは

$$b^2 = c^2 + a^2 - 2ca \cos \angle B$$

$$c^2 = a^2 + b^2 - 2ab \cos \angle C$$

← 注 ∠A=90°では $\cos \angle A = 0$ なので、 $a^2 = b^2 + c^2$ となり、三平方の定理
余弦定理は三平方の定理をより一般化した公式と考えられる。

このように、点や辺を反転や回転して元の図形と重なる性質を「**図形の対称性**」という。

質問3 → 公式「 $\cos(-\theta) = \cos\theta$ を利用して式変形しています。
 $\sin(-\theta) = -\sin\theta$ 」

元の式

$$\cos(\alpha - \beta) = \cos\alpha \cos\beta + \sin\alpha \sin\beta$$

(左)
(右)

\downarrow
 \downarrow
 \downarrow

β の代わりに
 $-\beta$ を代入

$$\cos\{\alpha - (-\beta)\} = \cos\alpha \cos(-\beta) + \sin\alpha \sin(-\beta)$$

\downarrow
 \downarrow
 \downarrow
 \downarrow

$\cos(\alpha + \beta) = \cos\alpha \cos\beta + \sin\alpha (-\sin\beta)$

質問4 → 公式「 $\cos(\frac{\pi}{2} - \theta) = \sin\theta$ を利用して式変形しています。
 $\sin(\frac{\pi}{2} - \theta) = \cos\theta$ 」

元の式

$$\cos(\alpha + \beta) = \cos\alpha \cos\beta - \sin\alpha \sin\beta$$

\downarrow
 \downarrow
 \downarrow

$$\cos\left\{\left(\frac{\pi}{2} - \alpha\right) + \beta\right\} = \cos\left(\frac{\pi}{2} - \alpha\right) \cos\beta - \sin\left(\frac{\pi}{2} - \alpha\right) \sin\beta$$

\downarrow
 \downarrow
 \downarrow

α の代わりに
 $\frac{\pi}{2} - \alpha$ を代入

$$\cos\left\{\frac{\pi}{2} - (\alpha - \beta)\right\} = \sin\alpha \cos\beta - \cos\alpha \sin\beta$$

\downarrow

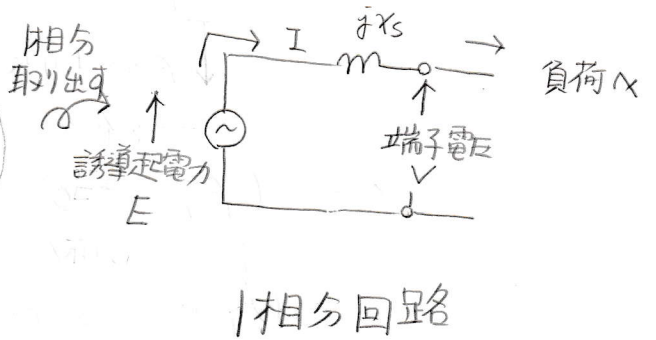
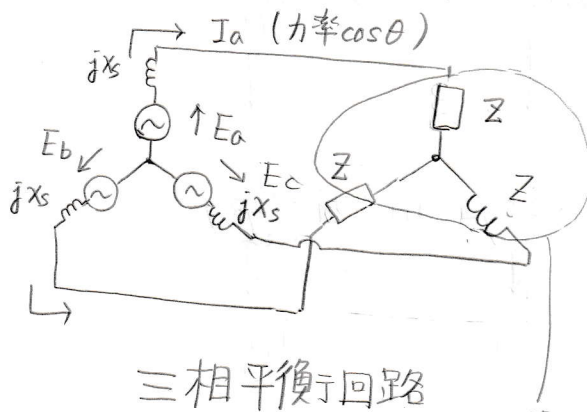
公式

$$\sin(\alpha - \beta) = \sin\alpha \cos\beta - \cos\alpha \sin\beta$$

質問5 → 次の手順です

手順1. 三相平衡回路の1相分を代表して書き出す

バランスが
とれている状態です



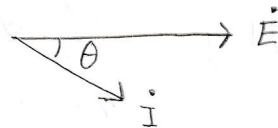
平衡なので各相の負荷
は等しい。

手順2. 発電機では誘導起電力Eを水平基準にし、
電流 → 電圧降下 → 端子電圧の順に
ベクトル図を描く

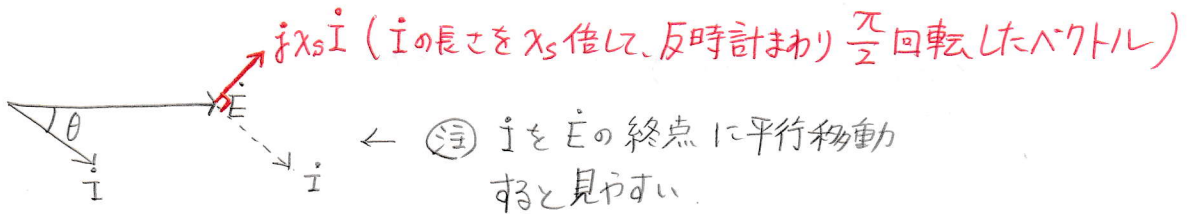
① Eを記入



② θたがズラしてIを記入



⇒ ③ 電圧降下を記入



④ 端子電圧を記入

